

～ 検察庁における支部勤務～

私は、岡山地検に採用されて7年目の検察事務官です。

現在は岡山地検津山支部の証拠品事務、事件・令状事務を担当しています。

ここでは「岡山地検における支部勤務」について紹介します。

まずは、岡山地検の支部等についてです。

岡山県内には、本庁（岡山地検）のほかに倉敷、津山、新見に支部が置かれているほか、笠岡など10の区検があります。

検察事務官として岡山地検に採用されると、本庁を中心とした人事異動サイクルの中で、一定の周期ごとに両支部及び笠岡区検に勤務することとなります。

ここで、岡山地検の支部等の業務について、簡単に説明します。

倉敷支部は、倉敷市や総社市等の県西部で起きた刑事事件を主に取り扱っており、検察官を含め30名ほどの職員で構成されている検察庁、津山支部は、津山市や美作市等の県北部で起きた刑事事件を主に取り扱っており、検察官を含め15名ほどの職員で構成されている検察庁です。

また、笠岡区検は、中国地方唯一の単独区検（他の検察庁内に配置されることなく単独で存在する区検検察庁）で、笠岡市、井原市、小田郡で起きた刑事事件のうち、比較的簡易な事件（交通違反、交通事故など）を取り扱っており、検察事務官3名で構成されています。

岡山地検は、その立地上、住居を構える地域にもよりますが、転居することなく県内全ての勤務地への通勤が可能、かつ、県外への通勤も可能な範囲が広いという特徴があります。

これにより、それぞれの、その時々に応じたライフスタイルが選択できるので、公私ともに進路の選択の幅が広がるように思います。

ちなみに、私は、岡山市内の自宅から列車を利用し、片道約2時間かけて津山支部に通勤していますし、私の周りには、自宅から車で通勤している方もいれば、異動に伴い津山市内に転居をした方もいます。

次に、支部勤務の特徴についてです。

私は、本庁で検務部門、捜査・公判部門、事務局部門（各部門における業務の詳細は、検察庁のホームページ「検察事務官の職務内容」を御参照ください。）を経験した上で津山支部に配属となりました。

実際に勤務してみて、本庁との違い、かつ、支部等の最大の魅力は、事務室業務にあると感じました。

事務室の主な業務は検務事務で、統括検務官を筆頭に、捜査・公判部門以外の全事務官が1つの部屋で執務しています。

本庁の検務官室が4～6人程度1係で各事務を担当するのに対し、支部等の各事務の主な担当者は1人、多くて2人です。

また、職員によっては、検務事務と検察官事務取扱検察事務官業務(こちら
も検察庁のホームページを御参照ください。)を兼務している方もいます。

そのため、大変に感じることもありますが、自然と職員同士がお互いに助け
合って業務を行う環境ができているため、一人の負担が大きくなりすぎるとい
うことはありません。

実際に、私は、証拠品事務担当として、証拠品の受入・保管・処分手続を行
いながら、日常的に事件・令状事務の事件受理・処理手続や勾留請求・勾留延
長請求手続を、担当者の不在時には、徴収事務や執行事務のうち基本的な手続
を行っていますし、逆に、大量証拠品の受入・処分のような一人での対応が難
しい事案がある場合には、他の事務担当者の協力を仰いで業務を進めるなどし
ています。

このように、支部の事務室での業務は、担当業務に精通する一方で、担当業
務以外の業務も習得できることから、検察事務官としてのスキルアップにはも
ってこいの環境なのです。

また、来庁された方の対応を事務室の職員で行うのも支部等の特徴の1つで
す。

本庁には1階受付に守衛さんが配置されているのに対し、支部等には守衛さ
んは配置されていません。

そのため、来庁された方とのファーストコンタクトは事務室の職員がとるこ
とになります。

初対面の方とのコミュニケーションは緊張する上に、検察庁には、警察官、
被疑者、被害者、目撃者、付添人等の様々な立場の方が来庁します。

一見しただけではその判別ができないことがほとんどです。

ですから、どのような立場の方で、どのような用件があって検察庁に来庁し
たのかを丁寧にお伺いし、適切に対応する必要があります。

ここで、津山支部あるあるを紹介すると、岡山地検津山支部は岡山地裁津山
支部と住所表記が同じであるため、しばしば裁判所に用件のある方が来庁する
ことがあります。

『「○時約束の□□です。」(あれっ?把握していない来庁者の氏名・・・)』、
そうなったときに、来庁者に対し、ここが検察庁であることを伝え、誰と約束
してどんな用件があるのかを丁寧に伺うことが、お互いの誤解を解く近道にな
るのです。飽くまでこれは一例ですが、前述したとおり、検察庁には他にも
様々な方が来庁されます。

まだまだ至らぬことばかりで、全ての方に最適な対応ができているとは言え
ませんが、支部勤務となり来庁された方の対応をするようになってから、あら
ゆる「人」への対応力が身についたことを実感しています。

最後に、ここでは「岡山地検における支部勤務」について紹介しましたが、これらは、岡山地検の、支部等の業務の中でもほんの一部にすぎません。

他の●職員からの一言●にもあるとおり、検察庁には他にも様々な仕事があります。

職務の特殊性から、検察庁の職員であっても限られた部署にいないければ経験できないことや検察庁の中でも特定の検察庁の職員でなければ経験できないことなど本当に様々です。

このページを御覧になって、検察庁に、ひいては岡山地検に興味を持っていただけると大変うれしく思います。

最後までお読みいただきありがとうございました。

(検察事務官 女性)